

## 島根県初記録となるフクイアナバチ（ハチ目：アナバチ科）について

皆木 宏明\*

### The First Record of *Sphex inusitatus fukuianus* Tsuneki (Hymenoptera : Sphecidae) from Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

島根県で初記録となるフクイアナバチ *Sphex inusitatus fukuianus* (アナバチ科) を確認したので報告する。確認場所は、広島県境に近接した島根県邑智郡邑南町下田所にある民家納屋裏の踏圧された裸地(約12㎡)であり、筆者が確認した2006年8月12日には営巣地で50個ほどの巣口が確認でき、活発に営巣活動をするフクイアナバチを確認することができた(写真1, 2, 3)。地権者によると1年前から営巣するようになり、今年はさらに営巣数が増えたという。

フクイアナバチは日本固有種で、これまで最初に発見された福井県の他、京都、広島、新潟、岡山、鳥取の6府県でのみ生息が確認され(岡山県, 2003; 鳥取県, 2002; 中村ら, 2006)、これまでのところ生息域の限定された種であり(図1)、環境省(2006)のレッドデータブックで情報不足(DD)に指定されている。本種は主として8月に日当たりの良い乾いた裸地状の平地に単独で巣穴を掘り、ハネナシコロギス *Nippancistroger testaceus* (コロギス科)のみを獲物として狩る習性をもつ。

本州には近縁種として同属のクロアナバチ本土亜種 *Sphex argentatus fumosus*, キンモウアナバチ *Sphex diabolicus flammitricus* の2種がおり、両種とも県内

に生息している。体長はいずれも3cm前後、地表に穴を掘って営巣するなど体サイズや習性は酷似しているが、フクイアナバチの方が翅や体がより暗色であること、他の2種が獲物として草原に棲むキリギリス類を狩ることなどの違いで区別できる。

フクイアナバチが獲物とするハネナシコロギスは、森林にすむ樹上性のバッタ類である(日本直翅類学会編, 2006)。そのためフクイアナバチが生息する環境には、ハチが営巣する裸地と共に森林も存在するという異なる2環境を含むことが生息条件に必須となるところが興味深い。

本記録は新聞で報道され、その結果大田市三瓶町志学にある民家のわずかな裸地(約4㎡)においても営巣を確認した。確認した巣口は5つ程度であった。両者とも周辺が林に囲まれた裸地を利用しているのは共通している。

現在県内でフクイアナバチの確認されている生息地は上記2ヶ所のみであるが、今後も本種の生息地が確認される可能性は十分あると思われる。

最後に本種の生息情報を提供頂いた、三瓶自然館インタープリターの近藤靖彦氏(島根県川本町)、林謙治郎氏(島根県大田市)に深謝致します。

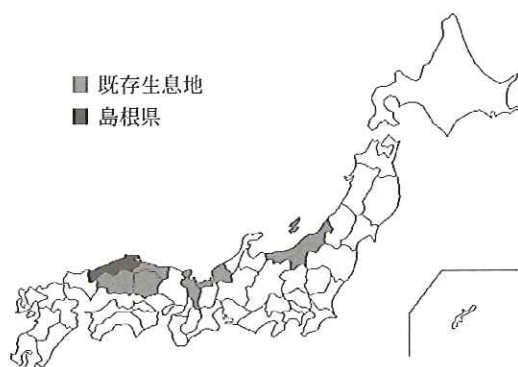


図1. フクイアナバチの分布

## 引用文献

- 環境省野生生物課(2006)改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物5-レッドデータブック-[昆虫類] 248pp.
- 中村慎吾・森山茂隆・上林俊治(2006) 広島県のフクイアナバチ. 比婆科学220: 31-37
- 日本直翅類学会編(2006) バッタ・コロギス・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会, 687.
- 岡山県(2003) 岡山県版レッドデータブック-絶滅のおそれのある野生生物-. 465pp.
- 鳥取県(2002) レッドデータブックとっとり-鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物-動物. 214pp.

\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel) , 1121-8, Tane, Sanbe-cho, Ohda-shi, Shimane Prefecture



写真1 巣穴を掘るフクイアナバチ



写真2 獲物を運ぶフクイアナバチ



写真3 獲物を巣に運び込むフクイアナバチ